

## 原料費調整制度に基づく2023年10月検針分のガス料金について

### 1. 2023年10月 検針分の料金表

- (1) ガス小売供給約款契約料金表（福島支社・茨城支社・茨城南支社地区）  
各月のご使用量に応じてAからDの各料金表が適用されます。

	(税込)			
	料金表A	料金表B	料金表C	料金表D
月間使用量(m <sup>3</sup> )	0～24	24～102	102～501	501～
基本料金(円/月)	913.00	1,193.50	1,468.50	6,383.63
調整単位料金(円/m <sup>3</sup> )	202.26	190.57	187.88	178.08
【参考】前月調整単位料金(円/m <sup>3</sup> )	(188.66)	(176.97)	(174.28)	(164.48)

※ 政府の支援で、15円/m<sup>3</sup>（消費税込）の値引きをしております。

### (2) 標準家庭における影響

	(税込)		
1か月のご使用量 <sup>※</sup>	2023年10月ガス料金	2023年9月ガス料金	差 額
23m <sup>3</sup> (45MJ)	5,564円	5,252円	312円

※ 1か月のご使用量については、2016年度から2020年度のご家庭1件当たり使用量の平均値です。

#### ■ 標準家庭料金の計算方法

$$\boxed{5,564} = \boxed{913.00} + \boxed{202.26} \times 23$$

$$\boxed{202.26} = \boxed{208.10} + (\boxed{9.16} - \boxed{15})$$

### 2. 原料価格の変動

#### (1) 原料価格の実績

算定期間		2023年5月から2023年7月	
平均原料価格	卸供給		88,060
	LNG		88,550
	LPG		75,290
			88,220 (a)
基準平均原料価格			78,400 (b)
差額 (a-b)			9,820

※LPG価格、LNG価格はともに貿易統計値

#### (2) 単位料金調整額の算定方法

##### ■ 平均原料価格の算定

$$\text{平均卸供給価格} = \boxed{88,060\text{円/t}} \times 0.5930$$

$$\text{平均LNG価格(貿易統計値)} = \boxed{88,550\text{円/t}} \times 0.4021$$

$$\text{平均LPG価格(貿易統計値)} = \boxed{75,290\text{円/t}} \times 0.0053$$

$$\text{平均原料価格} = \boxed{88,220\text{円/t}} \quad (\text{10円未満四捨五入})$$

##### ■ 原料価格変動額の算定

$$\boxed{88,220\text{円/t}} - 78,400\text{円/t} = \boxed{9,800\text{円/t}} \quad (\text{100円未満切り捨て})$$

##### ■ 単位料金調整額 (m<sup>3</sup>あたり調整額) の算定

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{9,800\text{円/t}} \div 100\text{円/t} \times 0.085\text{円} \times 1.10$$

$$= \boxed{9.16\text{円}} \quad (\text{小数点第3位以下切り捨て})$$

##### ■ 政府の支援反映後の単位料金調整額 (m<sup>3</sup>あたり調整額)

$$= \boxed{9.16\text{円}} - 15\text{円/m}^3 \text{ (支援単価)}$$

$$= \boxed{\blacktriangle 5.84\text{円}}$$

#### 【参考】原料費調整制度の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>当たりの単価)を毎月調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(78,400円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円/tにつき、ガス1m<sup>3</sup>当たり0.085円(税抜)の単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動は貿易統計の実績によります。